

駒場苑のケア方針

7つのゼロ

7つのゼロは、無理にゼロにする事を目的としたものではありません。特養において安易にされがちな7つ（寝かせきり、おむつ、機械浴、誤嚥性肺炎、脱水、拘束、下剤）について、不適切にされていないか、全利用者対象にチェックをするというストッパー的な仕組み、マネジメントの1手法です。目的はあくまで、最期まで気持ち良く、主体的で、その人らしい生活を過ごして頂く事であり、その方の状態に合わせた無理のないかたちでこれらの事を支援していきます。

寝かせきりゼロ

昼も夜もベッドに寝かせきり…ではなく、日中は食事排泄入浴等をきっかけに、趣味や役割、外出等、好きなように過ごして頂けるよう関わります。

おむつゼロ

オムツやリハビリパンツの中に排泄…ではなく、できるかぎりトイレですっきりと。綿パンツか、パットだけで通気性良く、快適に過ごして頂けるよう関わります。

機械浴ゼロ

ひのきの家庭浴槽で、ご自分の力を活かし、温泉気分で好きな温度と浸かっていたい時間を大事にする気持ちの良い入浴になるよう関わります。

誤嚥性肺炎ゼロ

食事はウトウト寝ながら食べないように、覚醒された時に、座って良い姿勢で食事ができるように。食事介助は必ず座って行ない、小スプーンでその方のペースに合わせてゆっくりと。食後の歯磨きもしっかり…防げる誤嚥性肺炎は防ぐ関わりをします。

脱水ゼロ

好きな飲み物、食べ物を楽しむ事を大切に考え、1日800ccを目安に個々の適正量に合わせて、無理なく脱水を起こさぬよう関わります。

拘束ゼロ

生活には事故のリスクはつきものですが、それを防ぐためにベルトで縛ったり、過剰な精神薬を服用したり、「〇〇してはダメ」と言葉で縛ったり、不適切な言葉かけで傷つけたり…そんな拘束はその方の生活も尊厳も奪います。駒場苑では拘束は行いません。

下剤ゼロ

下剤はなるべく使用せず、適切なトイレ誘導、水分の工夫や便通を促す飲食物で自然なかたちの快適な排便に近づけるよう関わります。